

大晦日 曙艸 子十三編

山東庵京山作
一陽齋豐國画

戊申春
新板

紅英堂
壽梓



Gōkan: (No. 009)
Oomisoka Sōshi.
Part 2. Book 13--20.

へ 13
3751
7

大晦日十三編

京山作

豊国画



上



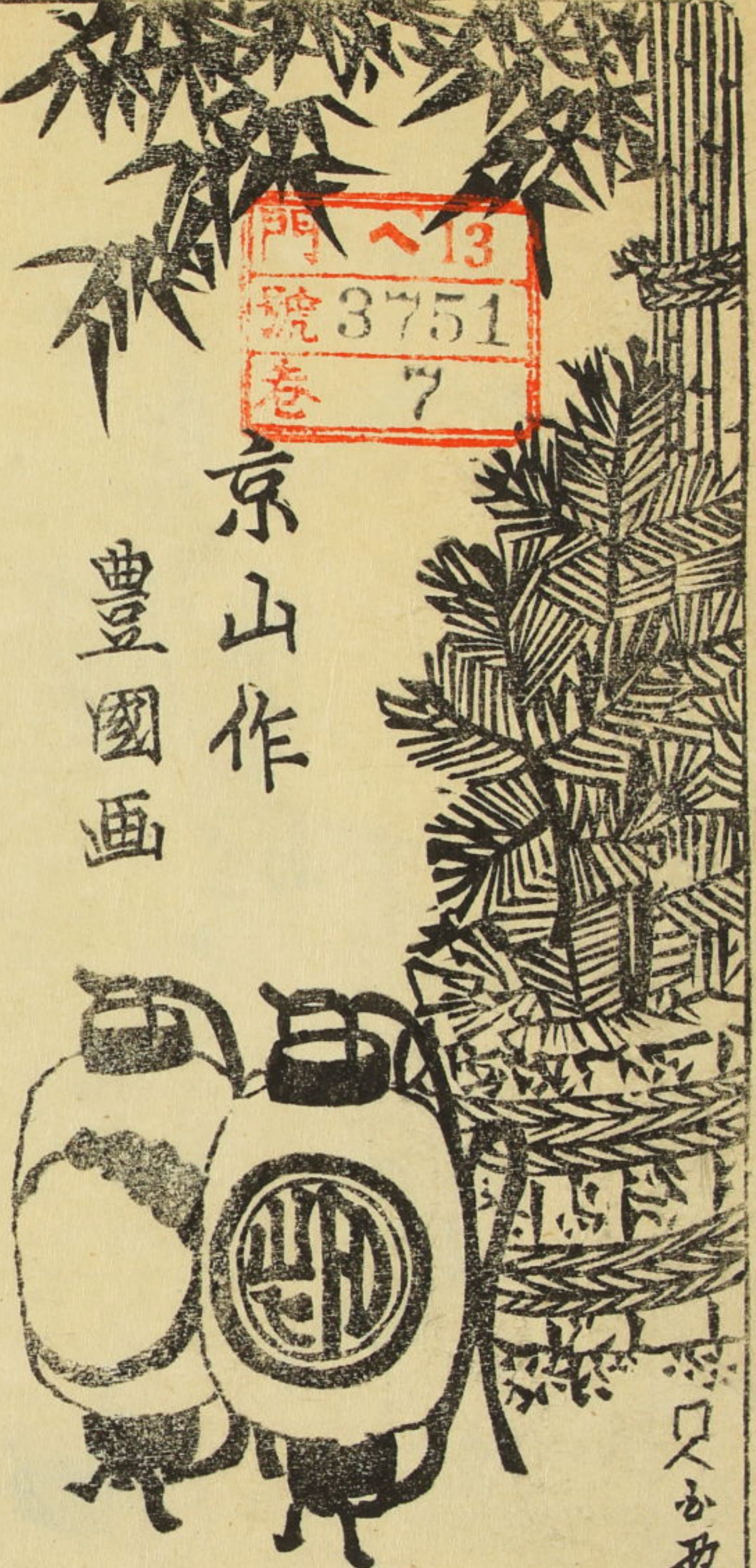
下

弘化五年戊申春鳥屋壽梓

門へ13
院3751
巻7

京山作

豊國画



只か致色

大晦日曙艸子十三編 上の巻

戊申の新板 萬屋吉藏板

いぬる天保九年戊の春大晦日曙草子をばけり
横末のしるし長あきつる曙の紫しるし大江戸
の春雨の窓ふりしるしあきつるやが来て
もくろくまうふ筆よりけりしるし大晦
のけしとせむしるし色紙をけりしるし十三編を
とて松年の数八十とせむしるし大晦日けり
元日とせむしるし大晦日のしるし大晦日けり
まよふ筆をぬきしるし大晦日のしるし大晦日けり
ちどりのしるし大晦日のしるし大晦日けり



弘化四年丁未 仲秋稿本同初冬春梓
申の春の新板とせ

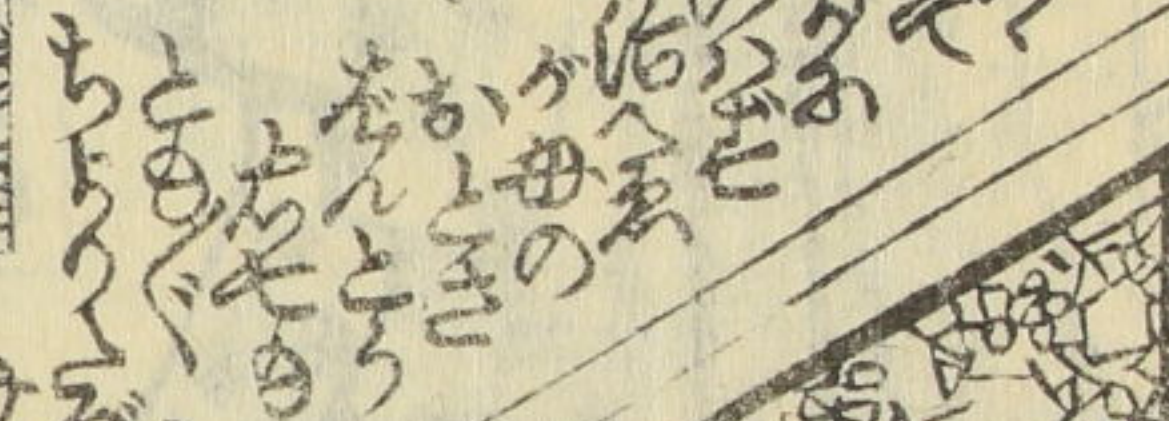
山東菴京山





① 大田中三の
 ② 大田中三の
 ③ 大田中三の
 ④ 大田中三の
 ⑤ 大田中三の
 ⑥ 大田中三の
 ⑦ 大田中三の
 ⑧ 大田中三の
 ⑨ 大田中三の
 ⑩ 大田中三の
 ⑪ 大田中三の
 ⑫ 大田中三の
 ⑬ 大田中三の
 ⑭ 大田中三の
 ⑮ 大田中三の
 ⑯ 大田中三の
 ⑰ 大田中三の
 ⑱ 大田中三の
 ⑲ 大田中三の
 ⑳ 大田中三の
 ㉑ 大田中三の
 ㉒ 大田中三の
 ㉓ 大田中三の
 ㉔ 大田中三の
 ㉕ 大田中三の
 ㉖ 大田中三の
 ㉗ 大田中三の
 ㉘ 大田中三の
 ㉙ 大田中三の
 ㉚ 大田中三の
 ㉛ 大田中三の
 ㉜ 大田中三の
 ㉝ 大田中三の
 ㉞ 大田中三の
 ㉟ 大田中三の
 ㊱ 大田中三の
 ㊲ 大田中三の
 ㊳ 大田中三の
 ㊴ 大田中三の
 ㊵ 大田中三の
 ㊶ 大田中三の
 ㊷ 大田中三の
 ㊸ 大田中三の
 ㊹ 大田中三の
 ㊺ 大田中三の
 ㊻ 大田中三の
 ㊼ 大田中三の
 ㊽ 大田中三の
 ㊾ 大田中三の
 ㊿ 大田中三の

大正

[illegible]

六段目

ついでに
やうな

[illegible][illegible]

九
本
七

古陵目

といふは、
 守るおの
 ちのつ
 いふの
 さる
 なる
 ども
 こ
 い
 も
 る
 されど
 さ
 人
 する
 なる

Top right text: 七
五
六
七

Left side text: 七
五
六
七

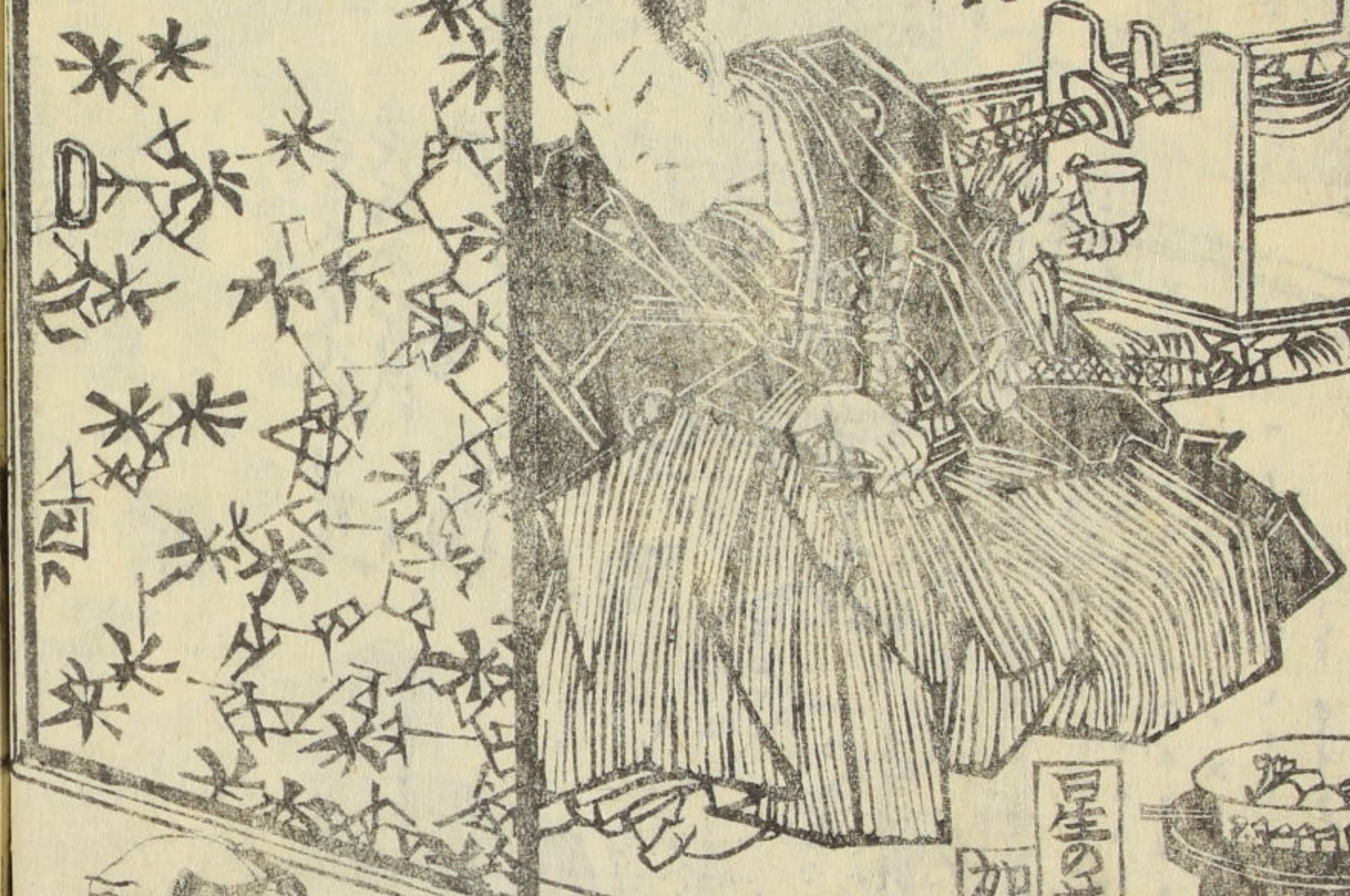
Bottom right text: 七
五
六
七

[illegible]



[illegible]

(Faint handwritten notes at the bottom)



星の井家の長官
加田井ひとみ

[illegible]

卷

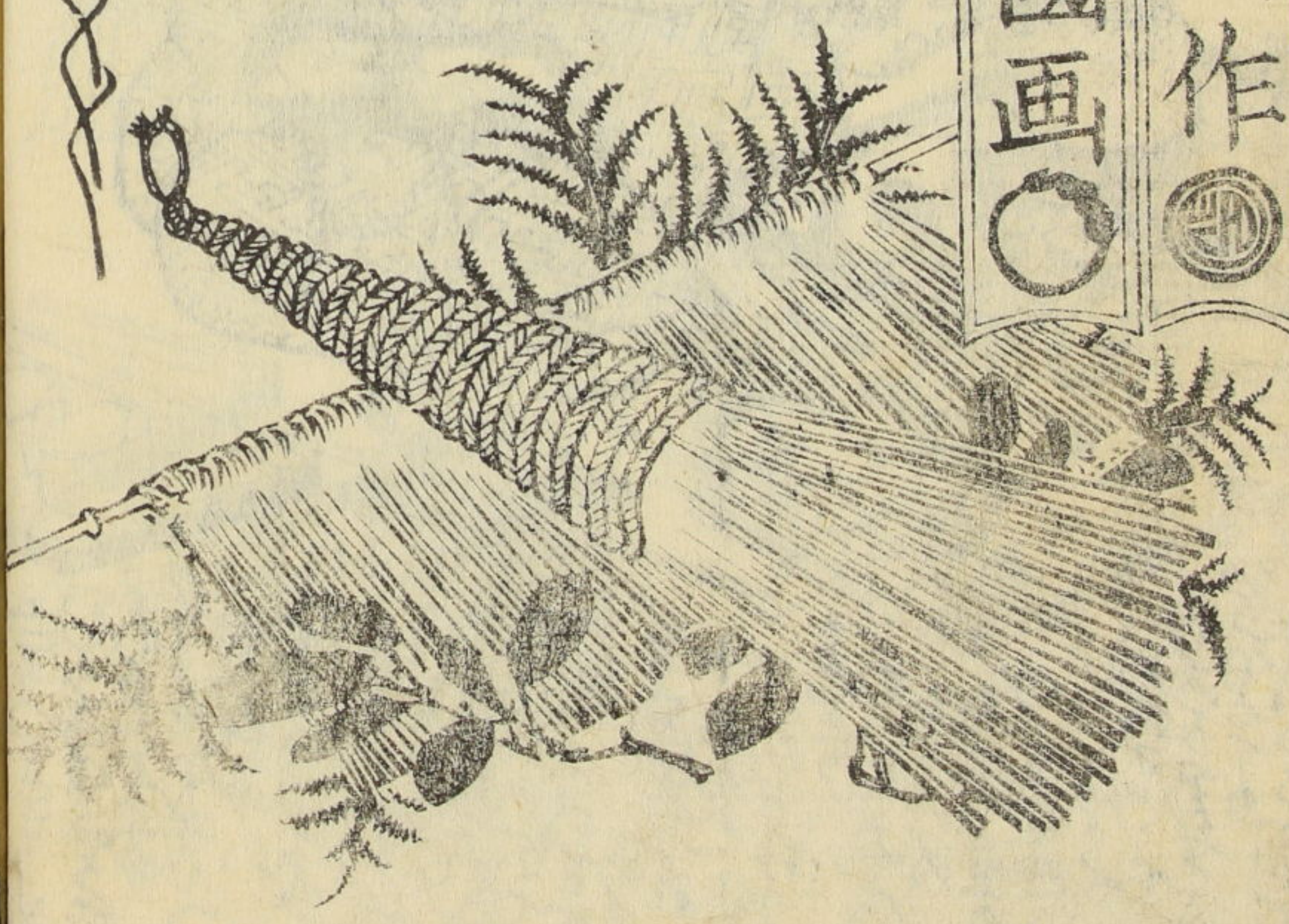
●そのあくる日
やそののち

上海

おきん

長考

大晦日まけやのさきし十人
おんがあんざん
うらう川がさそひき
うらうのうたをうたふ女房
井戸へ水をあげ百両の
さつをひらふやうど
おろくろきつり
おんみ入るやう
めでうり



嘉永二己酉春新板目錄

大晦日曙草紙おやそくそらあけぼのぐさ
土編 土編 土編
山東庵京山作
陽齋曹國画

新鞆田舎物語 初編 二編 十返舎一九作
三編 四編 一陽齋豊國画

御贄美少年始三編四編十返舎陽齋豐國画

古今草紙合初編二編笠亭仙果作
三編四編一陽齋豊國画

雪梅芳譚太の州紙
三編四編
五編六編
七編八編
笠亭 仙果作
陽齋豊國画

東都地本錦繪板元谷
南傳馬町壹丁目
葛屋吉藏

大晦日曙草紙

山東庵京山作
一陽齋豊國画



十四編下

萬吉祥

十四編上



酉春新板

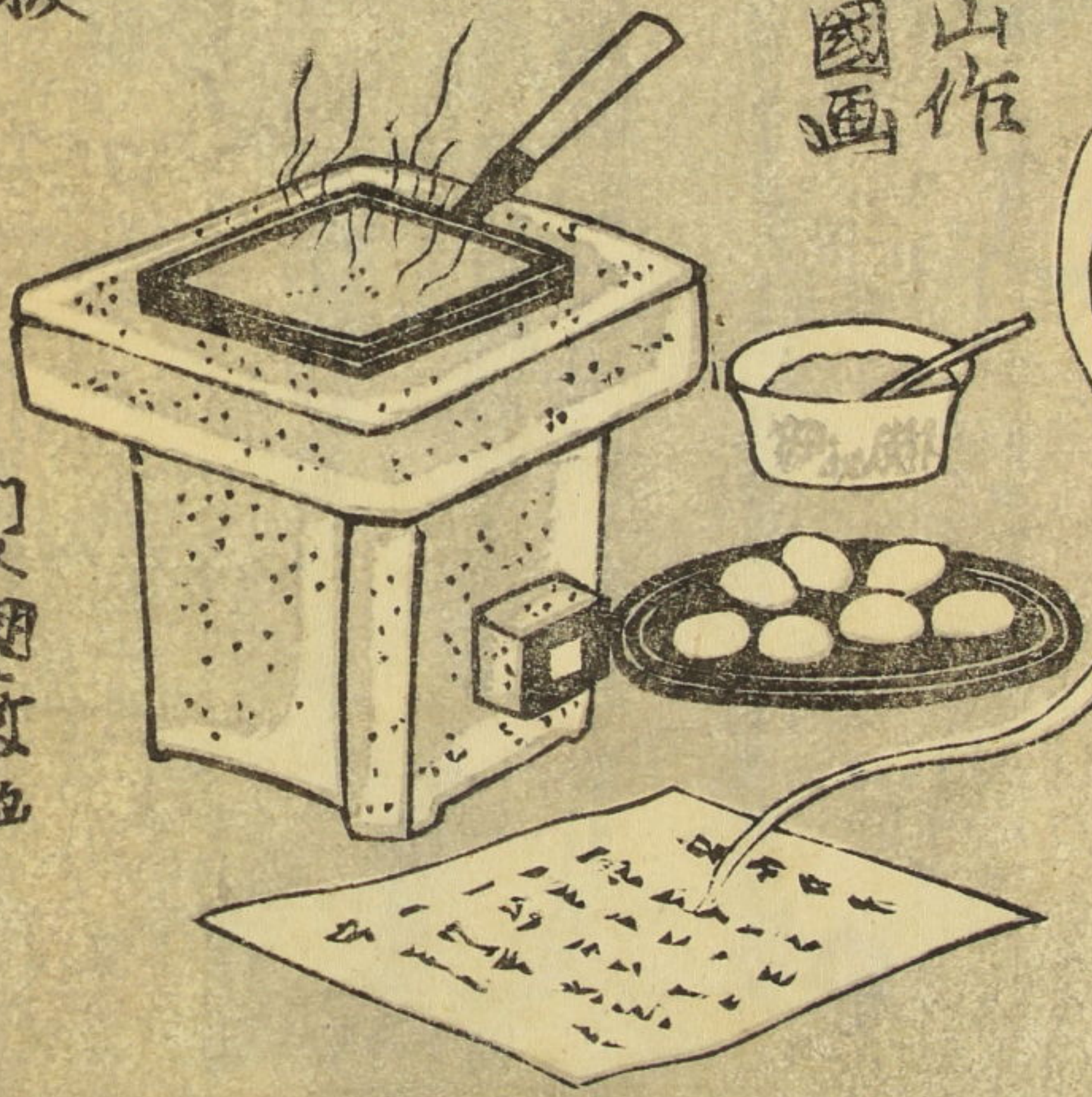


山東菴京山作
一陽齋豊國画

紅英堂
壽梓

大晦日曙草紙 十四編上之巻

嘉永二年酉春新板



門人田舎屋

新刊 壹 新刊

此大晦日曙草紙は天保九年戌の三月初編の筆を操るを其の年終
十月廿八日發販賣の春の新板拙作とも幸ひふとあるは書肆やこ
二編をむひ三編四編と年々歳々花相似る作らるるを今をこ
十四の編をむふささこころい元日子の日ありければ霞も松も花も
以てのどけく窓の梅も香る小當りある薄茶たてて茶のたけ
めでたかの書肆が年終のは祝儀ハ歳の名をさるまゝ大晦日
かけのさしそくあいにせん短き財布ハ是年その大晦日ささぐり盡
され金の詞を入小借んと西鶴が胸兼用をたけ終ても時代たぐひ
用ひたるささく小説の学銀と学友小三郎借て見を翻案しむ
する十四編をあへて此大晦日の帳をけしぬ

嘉永元年申孟春稿本
同 初冬上梓酉の新板

八十翁
山東菴京山



大晦日曙草紙

西の海を渡る
 舟に乗りて
 東の国へ
 来る
 舟に乗りて
 西の国へ
 来る
 舟に乗りて
 東の国へ
 来る
 舟に乗りて
 西の国へ
 来る



大晦日
あけぼの
さくら
十四日

[illegible]

さういふおもしろいものぢやなく二三四五をあるの
こゝろよりふにすう四つなり六七八人げま九人ぞ
のあつちから大さるゝ雪の大さうりりごのあひ
きずくやのほそりり人三人金すりのふ
つけあひきのおひねとあひはしとて
さうぐ中にもなきま

長をあら

長きとてまゝぬ

⑩ とうとうとうとう
ちゅうちゅうちゅうちゅう
ふのちえんをとる

[illegible]

一

二

三

四

A woodblock print illustration from a Japanese book. It depicts a person wearing a patterned kimono, seated and holding a small object. To the left, there are several vertical columns of handwritten Japanese text. The top right corner features a stylized graphic element resembling a bird or a decorative flourish.

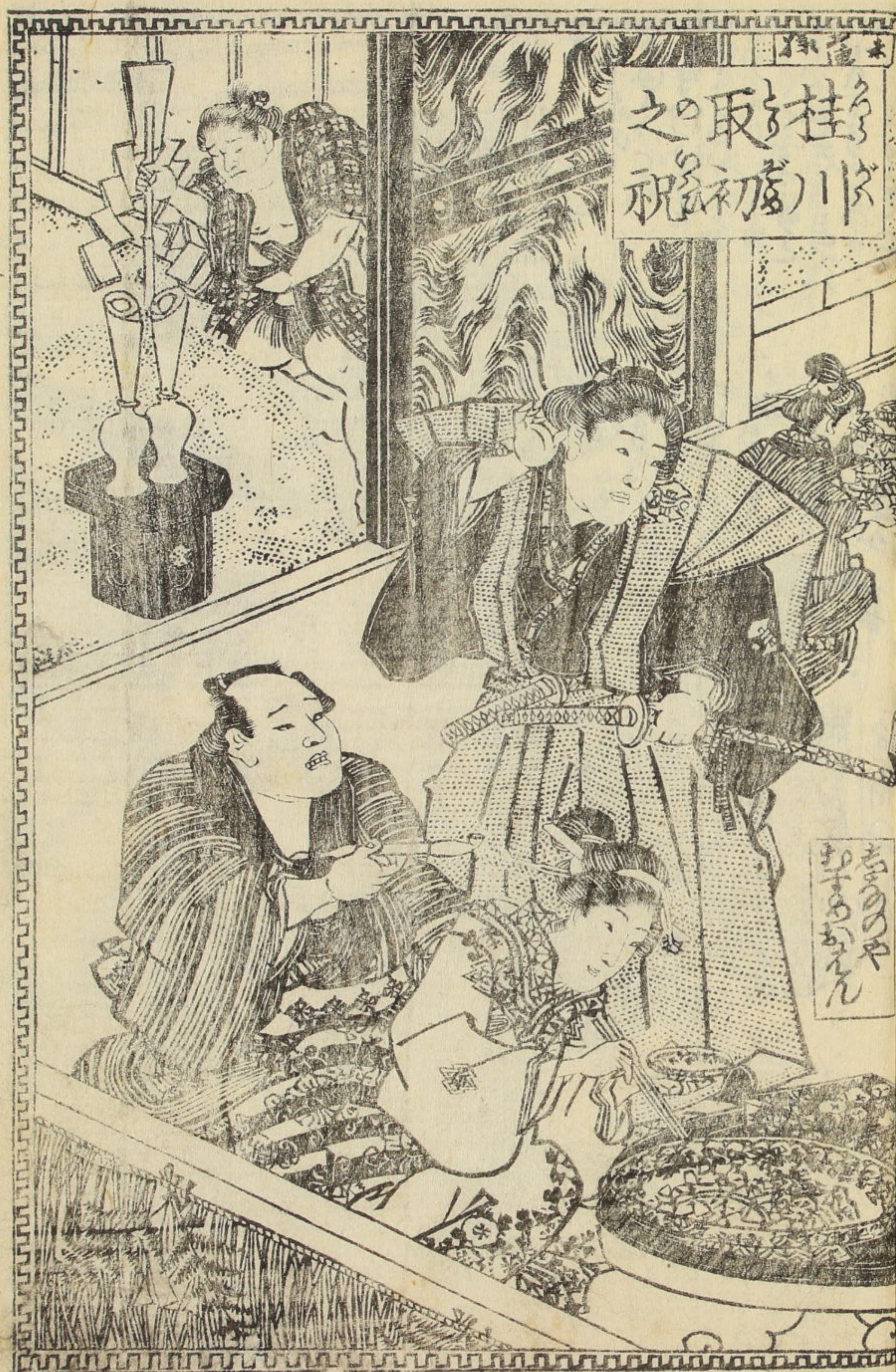
[illegible]

① 江戸のくさしめ
とちのくさしめ
わしのくさしめ

おのゝ
 せうふ
 うりし
 あひ
 まち
 うさ
 けんの
 ありき
 とて三十あ
 かりふとありふ
 それをそる二
 がもつて三
 ろうし川か
 きてよりい
 きよおれの
 らまう
 おん
 を
 (丸)

大德二年





卷之四

いさふちの
きつこ



○ 之 子 是

いぢんぐあちう

五

[illegible]

(六) 甲づきの
きこえぬ人よ
かめいー かめいでろ
よのゆゑあんどあまうと
[表]「そのとき」おせんを
くさ川へおかけこのトキの
「さき」おれごとちひ
さきよあちひごちひ
ういのさきふあませうと
せきりのこえをさのひ
あづけてくもあむらひ
とありどし由あきぬらふ
まのとくあまのうみの子の
さんじせきりのあまを
うであひこのあまに付ハ

次

欽



豊国画

大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目

大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目



大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目

おせんが母

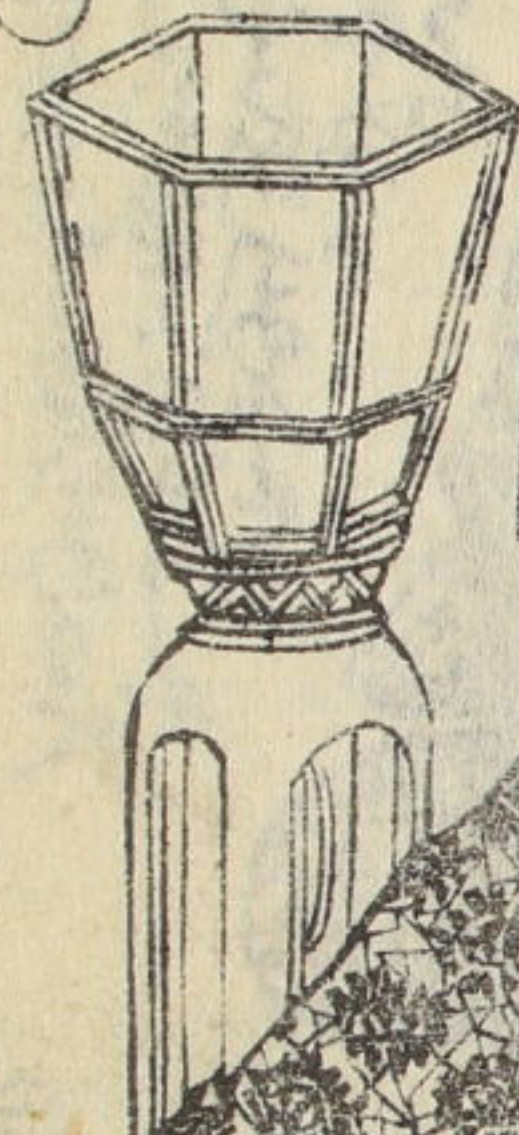
かつ川

大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目

赤子

大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目

大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目



おせんが母

大晦日あけぼののまじし
 十四るん下のまじし
 七段目

(三) いまうすれはつらうが子ふらうが
おのゝやうひてでされ
うらうらうらやわゆるいふはけの
いさうに百あるうらうらうらあめ
よごぎとぞなえんおやとぢあわれもへち
あはれづるふたふたあはれづるうら



おびや
長考

あきまはせうみふあゐる
「あゐるんさんの
ごころをいける
か」といふ
かういふ
ごころをいける
か」といふ

三

川

く
つ
ま

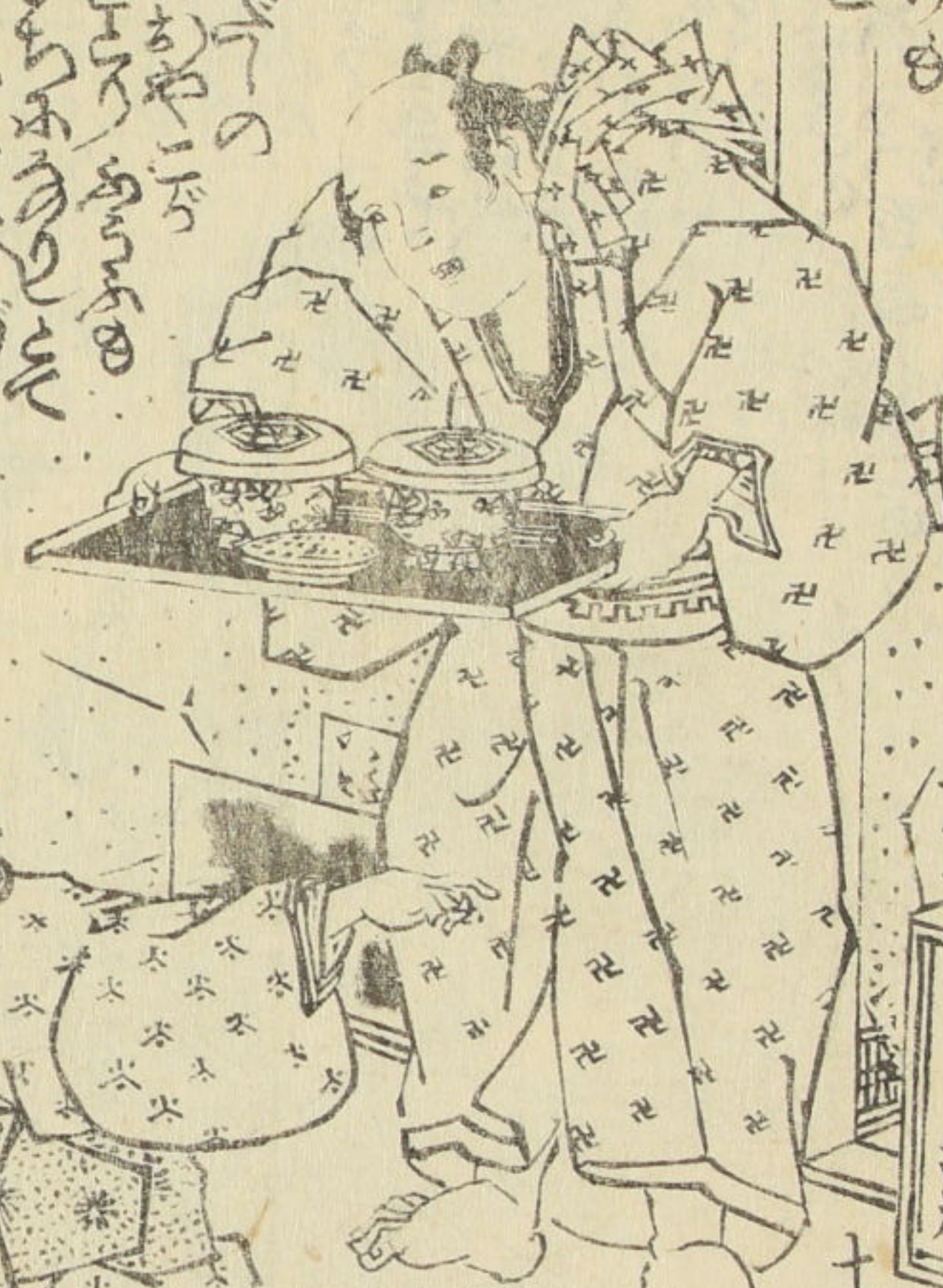
④
あ
の
よ
と
れ
ぬ
お
百
あ
を
う
ち
う
あ
づ
き
て
を
さ
あ
ー
ん
げ
お
せ
き
と
り
と
そ
ろ
ろ
あ
け

A detailed black and white woodblock print illustration of a person in traditional Japanese court attire, seated and facing right. The figure wears a patterned robe with a wide, decorative collar and a long, flowing skirt. The background features stylized clouds and a fence-like structure.

九段目

かくてえんり七目ちの
いのひとて大いをまきいれおんを
せきりりの女房のいれおんを
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん

あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん



子安を



あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん

あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん



あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん
あつたさき
うすねに男の子ははくのやうい子
ありされいれおん

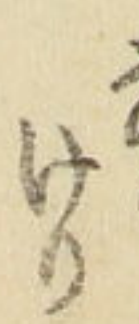
[illegible][illegible]

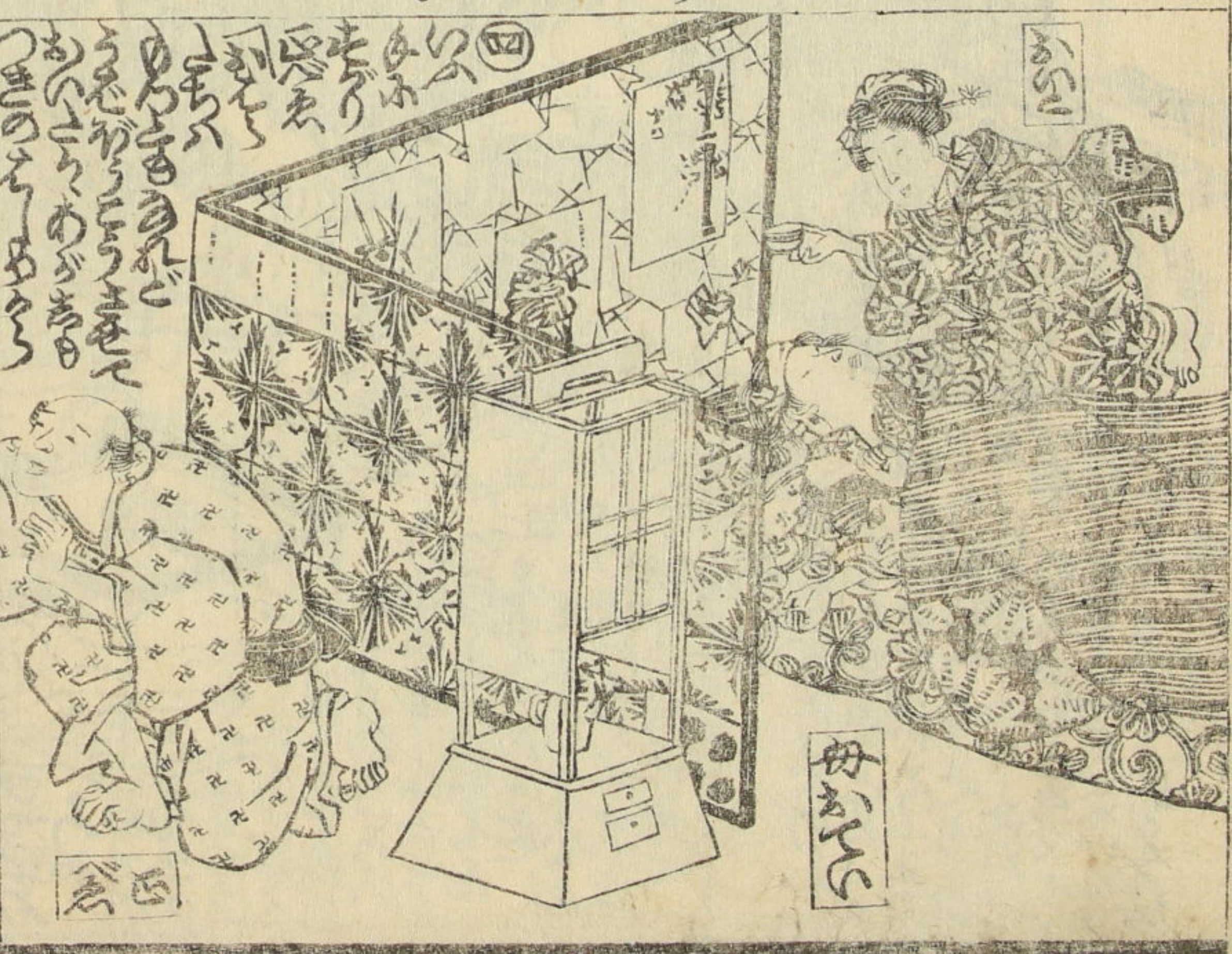
① 五

け

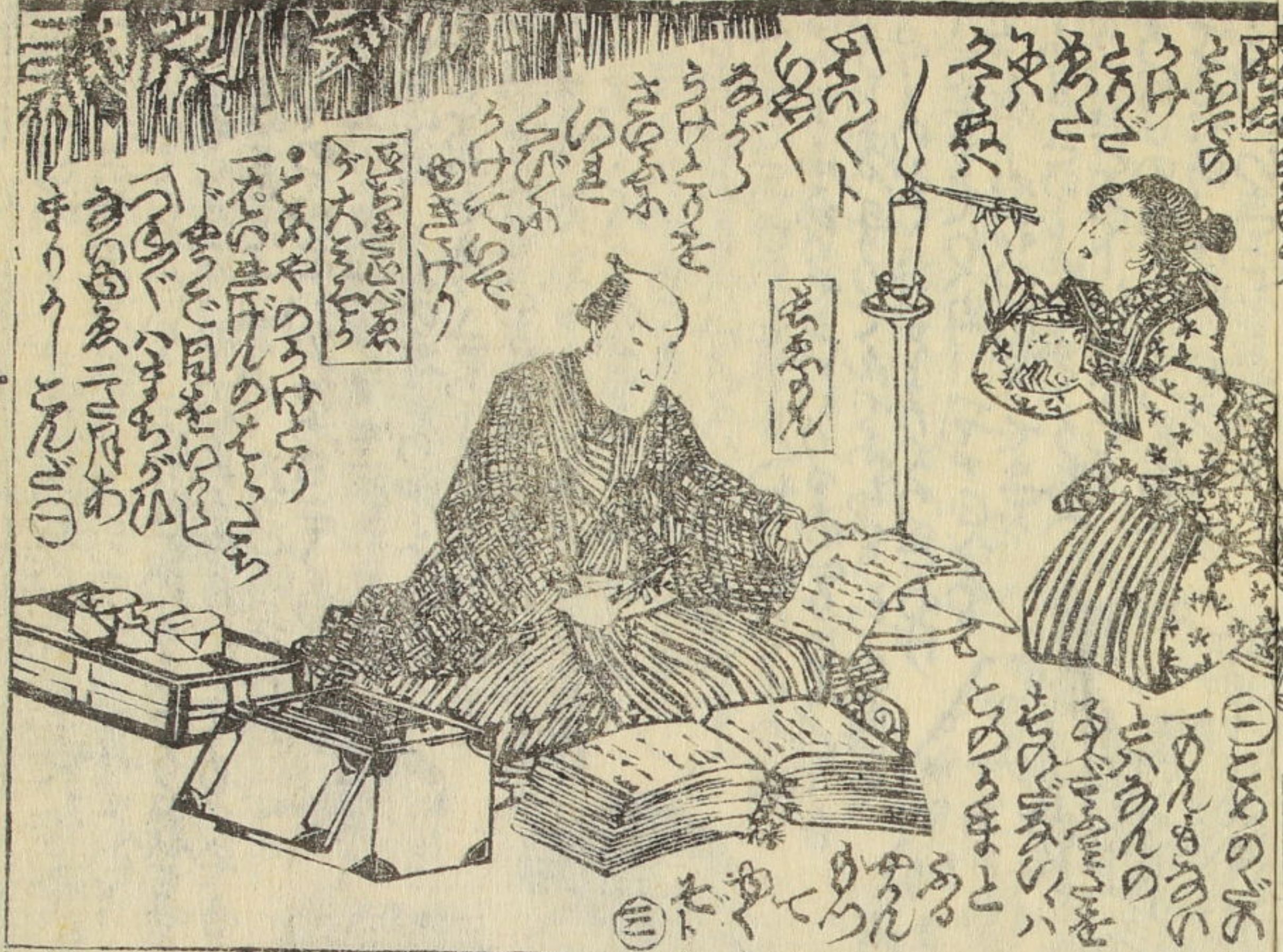


石

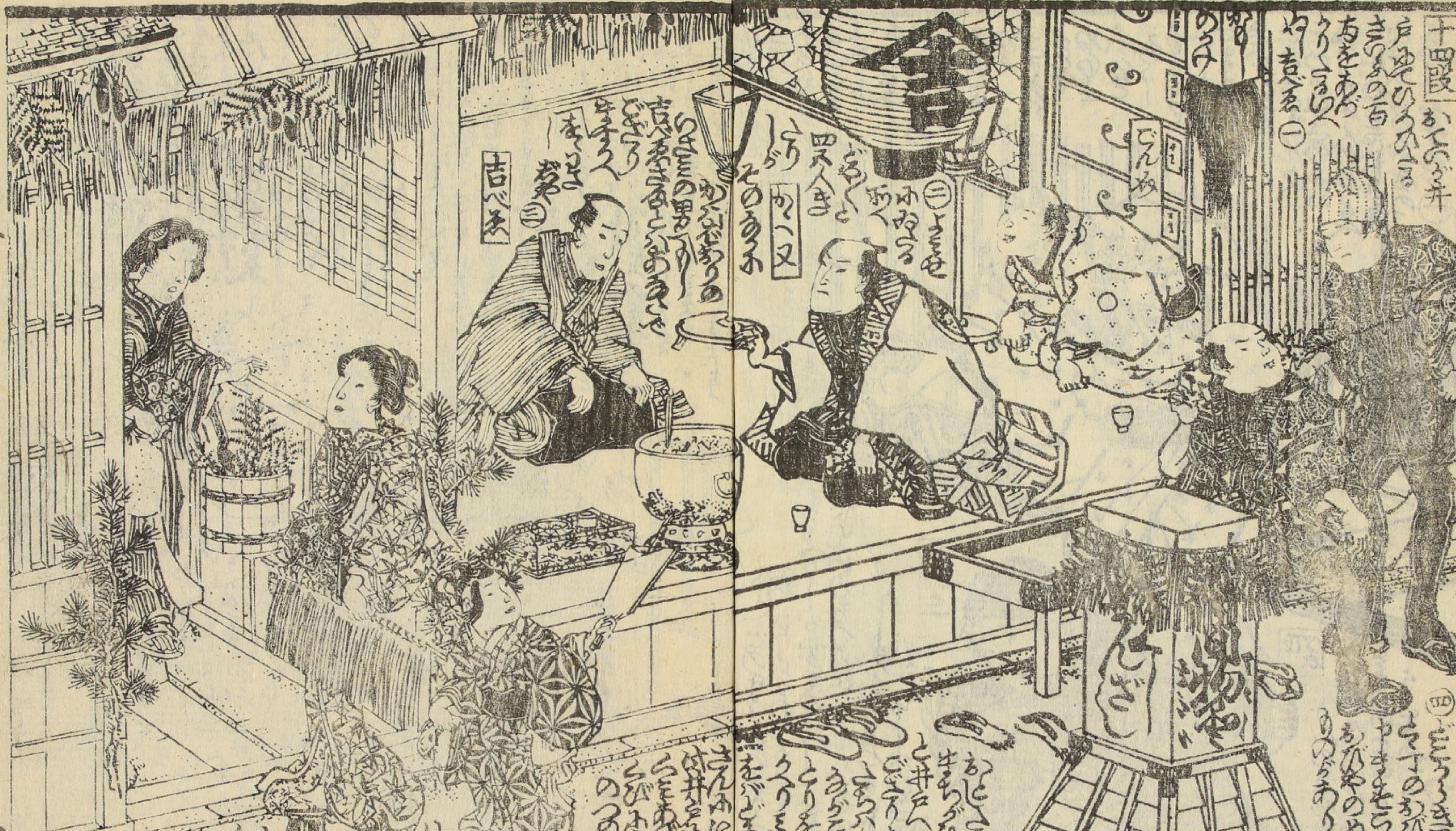
[illegible][illegible]

[illegible]

あつてゐるが、

[illegible]

十四段 おての井
戸ゆきのうらな
まのうらな
あきあき
うらな
ゆきあき 一



④ おての井のうらな
まのうらな
あきあき
うらな
ゆきあき 一

おての井のうらな
まのうらな
あきあき
うらな
ゆきあき 一

おての井のうらな
まのうらな
あきあき
うらな
ゆきあき 一



大晦日曙中風

十四編

京山作

豊國画

寫古壽梓

己酉孟春